

## 「エネルギーグループ知的財産報告書（2012年2月）」の概要

### ○『特集』（3～7頁）

オープン・イノベーションに向けた研究・開発や知財化の代表的な取り組みとして、電気の供給安定性・経済性・環境保全の達成をテーマに、「高度な技術力・専門的知見を有する企業」や「地域に密着した研究機関」と連携した事例や成果を紹介しています。また、「地方自治体など行政機関」との連携・協調を通じて地域貢献に寄与した事例を紹介しています。

### ○『知財戦略推進の基本理念』（8～16頁）

当社グループの経営ビジョンと知財戦略の関係、知財戦略推進の3つの基本理念を説明するとともに、参考データとして知財活動の実績などについて紹介しています。（詳細は別紙2）

今回は、当社の知財活動の特徴である現場ニーズから生まれた特許の紹介事例を1事例から3事例に拡充するほか、電力会社では初となる知財功労賞の受賞について紹介しています。

### ○『研究・開発への取り組みと当社グループの独自技術』（21～27頁）

当社の研究・開発戦略の考え方、当社グループの独自技術の特徴や主な取り組み内容および先進的な石炭火力発電技術を紹介しています。

### ○『特許群の事業への貢献』（28～33頁）

当社グループの特許出願の目的、効果および特許の価値評価の考え方と算定結果を説明するとともに、保有特許の事業貢献の事例を紹介しています。（詳細は別紙3）

### ○『CSRの取り組み』（37～39頁）

知財面においても、CSRを意識した活動を展開していることについて説明しています。また、当社が保有する特許権を活用した東日本大震災の復興支援について紹介しています。

### ○『リスク対応情報』（40頁）

コンプライアンス最優先の考え方に基づき、日常活動として他社特許侵害リスク対応や商標権管理等の取り組みおよび当社シンボルマークが防護標章登録を受けたことについて紹介しています。

そのほか、本報告書では、できるだけ多くの読者により親しみやすさを感じていただくために、当社グループ社員の知財活動への思いを紹介する『Voice!』や、知財活動に関する豆知識を紹介する『知左工門博士の知財こぼれ話!』といったコーナーを新たに設けています。